

【第 16 回新型コロナウイルス感染症対策会議】

R2.7.16 PM2:15～

5F 大会議室

出席者；金井会長、水谷・神田・廣澤副会長

桃木・松本・丸木・登坂・松山・長又・寺師・鹿嶋・小室常任理事

県行政（保健医療部 唐橋副部長 秋田企画幹）

金井会長

今回 16 回目となる。まず唐橋副部長から、現状等について説明いただきたい。

唐橋副部長

資料 1 については、詳細は省くが、最近の発生傾向として、本日、東京で陽性患者が 280 名と、記録を更新した。さらに検査の数を多くし、4,000 件を超える検査をしたということである。埼玉県においてもここ 1 週間は 30 人から 40 人くらいの新規陽性患者が確認されており、1 週間前は若い方、夜の街の関連が、かなりを占めていたが、徐々に年齢も広がり、また、地域においても県北地域を含めて広がりを見せてきている。いわゆる市中感染の様相が徐々に強まっている。本日は新たな病床確保計画（資料 2）ということで資料を提出させていただいた。これは一昨日知事が発表し、昨日、関係の病院長に説明させていただいた。1 枚目だが、国の新たな患者推計に基づき、4つのフェーズごとに病床数等を設定した。埼玉県が厚労省の推計に基づき積算したところ、ピーク時の陽性患者が 2,215 人、またピーク時の入院患者は約 4 割程度であるが、1,073 人、うち重症者が 155 人と見込んでいる。現在の平均患者数は、約 200 名となっている。フェーズを 4 段階に分け、それぞれの病床確保目標を 140、600、1,000、1,400 と、うち重症を 20、90、150、200 と設定した。2 ページは複雑な表となっているが、病床確保のタイミングをあらわしたものである。現在 600 床確保しているため、フェーズⅡになるが、フェーズⅢ（1,000 床）に移行するタイミングは、まず、フェーズⅢに向けたメディカルアラートというのが左上のほうにあり、今 600 床確保しているところで、入院患者が 150 名に達したときに次のさらなる病床確保に向けたアラート（予告）をさせていただき、入院患者が 220 人以上になったときには、フェーズⅢに向けた具体的な要請をさせていただく。昨日の会議では、既に入院患者が 200 人

に達しているため、アラートを発出させていただいた。220 人以上となった場合には、具体的な要請をさせていただく旨の話しをした。ホテルについては、契約に一定の時間がかかるため、3段階で設定をした。フェーズⅠは現在で、522 室確保しているところである。フェーズⅡでは 1,045 室、フェーズⅢでは 1,450 室を確保する計画となっている。フェーズⅡの受け入れ準備として宿泊療養者が 60 人以上になったら受け入れ準備を始めるということで、現在約 80 人となっており、既に基準に達しており、受け入れ準備として、昨日 1,045 室に向けたホテルの公募を行った。一定の条件を付け昨日公募をした。応募の状況をみながら契約の準備を進めたいと思う。以上です。

丸木常任理事

昨日の会議での病院の感触であるが、思ったより反発がなく、比較的協力的であった。重症者が少ないというのもひとつの原因だと思う。また、最近ガイドラインが変わり、軽症者であれば 10 日間くらいで退院できることとなったことで 1,400 床までいらなくなるのではないかというのも、原因のひとつと思われる。

長又常任理事

重症の定義を教えてください。

唐橋副部長

人工呼吸器、エクモを使用する、または、ICU に入っている場合と定義している。

桃木常任理事

ピーク時の数は何も対策をしていない状況か。

唐橋副部長

対策を行ったうえでの数である。

金井会長

先ほど中川会長から連絡があり、毎週開催していた都道府県医師会の連絡会議を 1 ヶ月に 1 回としたが、また、毎週開催するとのことである。

また、首都圏の会議も開催したいとのことであった。

登坂常任理事

越谷の PCR 検査センターは 4 月から実施しており、当初陽性者はほとんどいなかったが、7 月には毎日陽性者が出ておりいつも 1 から 2 時間程度で終わっていたものが、3 時間かかりタイトになってきた。近隣の市町村と融通をきかせることは可能なのか。

丸木常任理事

第2波に備えた検査体制の強化という資料（資料3）があるが、今まで通りだと、めいっぱいになってしまうため、残業となった時、人員を増やした時、診療時間を延ばした時、診療日を増やした時等に1日15万円をPCRセンターにのせることとした。ただし、越谷は中核都市のため、これには入っていない。

登坂常任理事

以前、医師はマスクと手指消毒をしていれば濃厚接触にならないと言われていたが、いまでも生きているか。

丸木常任理事

生きている。

水谷常任理事

東京都では歌舞伎町などPCR検査を実施しているが、埼玉県でそういう動きはあるのか。

秋田企画幹

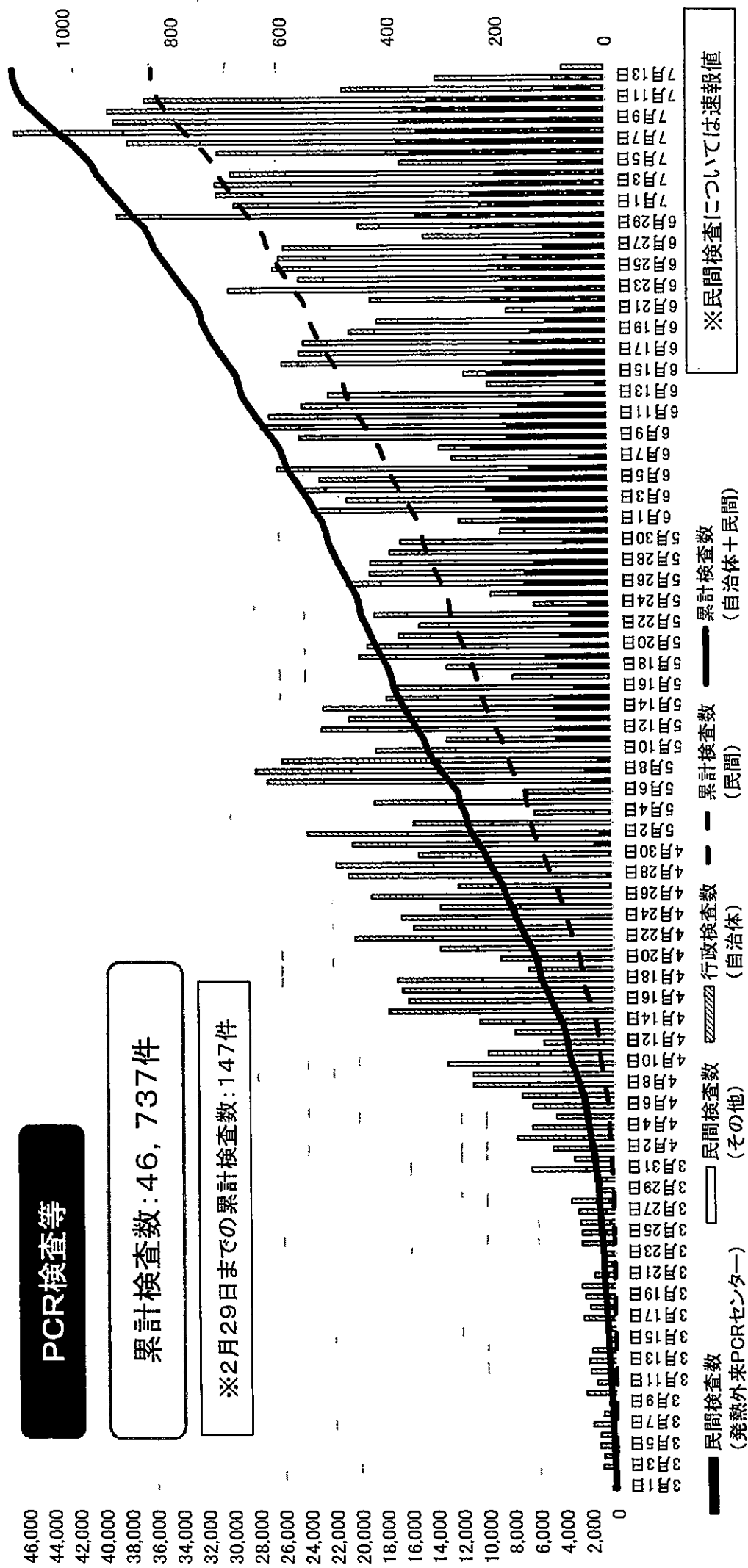
さいたま市から大宮の南銀座のキャバクラ店には通知をし、検査を呼び掛けている。現在、110程度の予約をいただいている状況であると聞いている。

金井会長

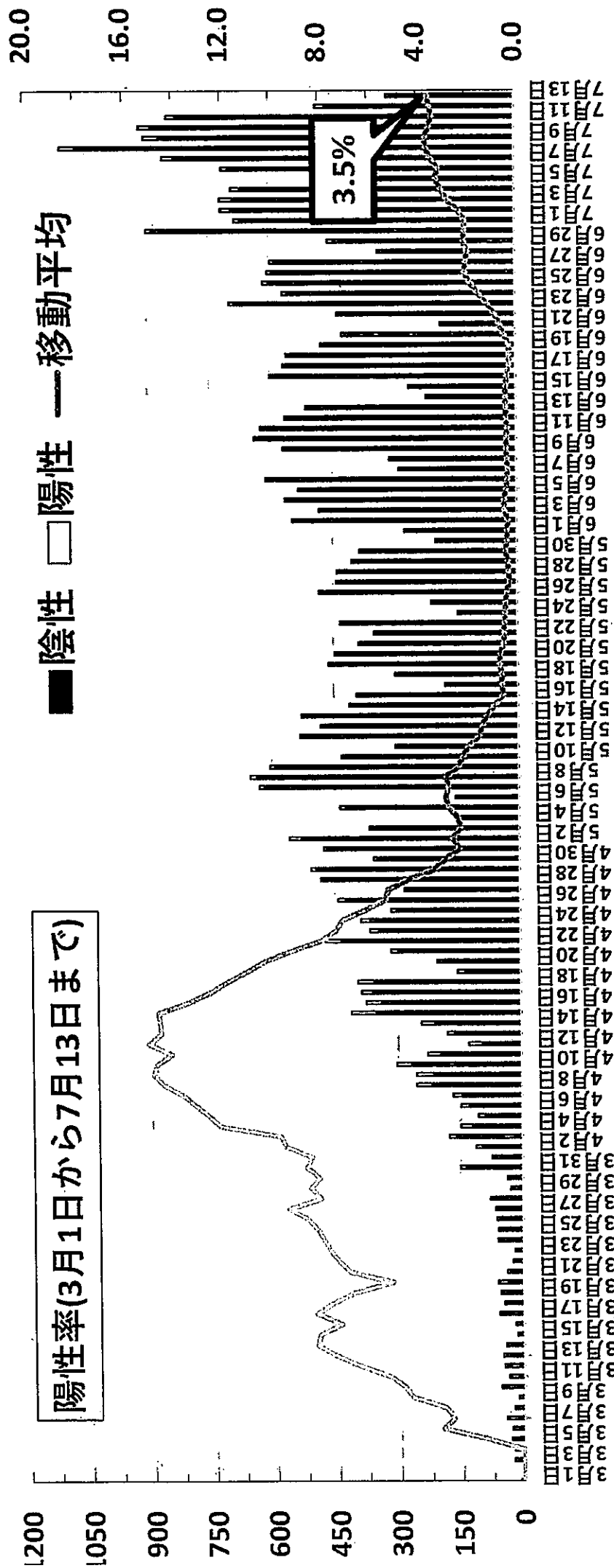
埼玉県独自で考えるというより、首都圏で考えていかなければならないと思う。今後、また少し数が増え、ばたばたするのかと思うが、よろしく願いしたい。

PCR検査等の現状

資料1



陽性率の推移



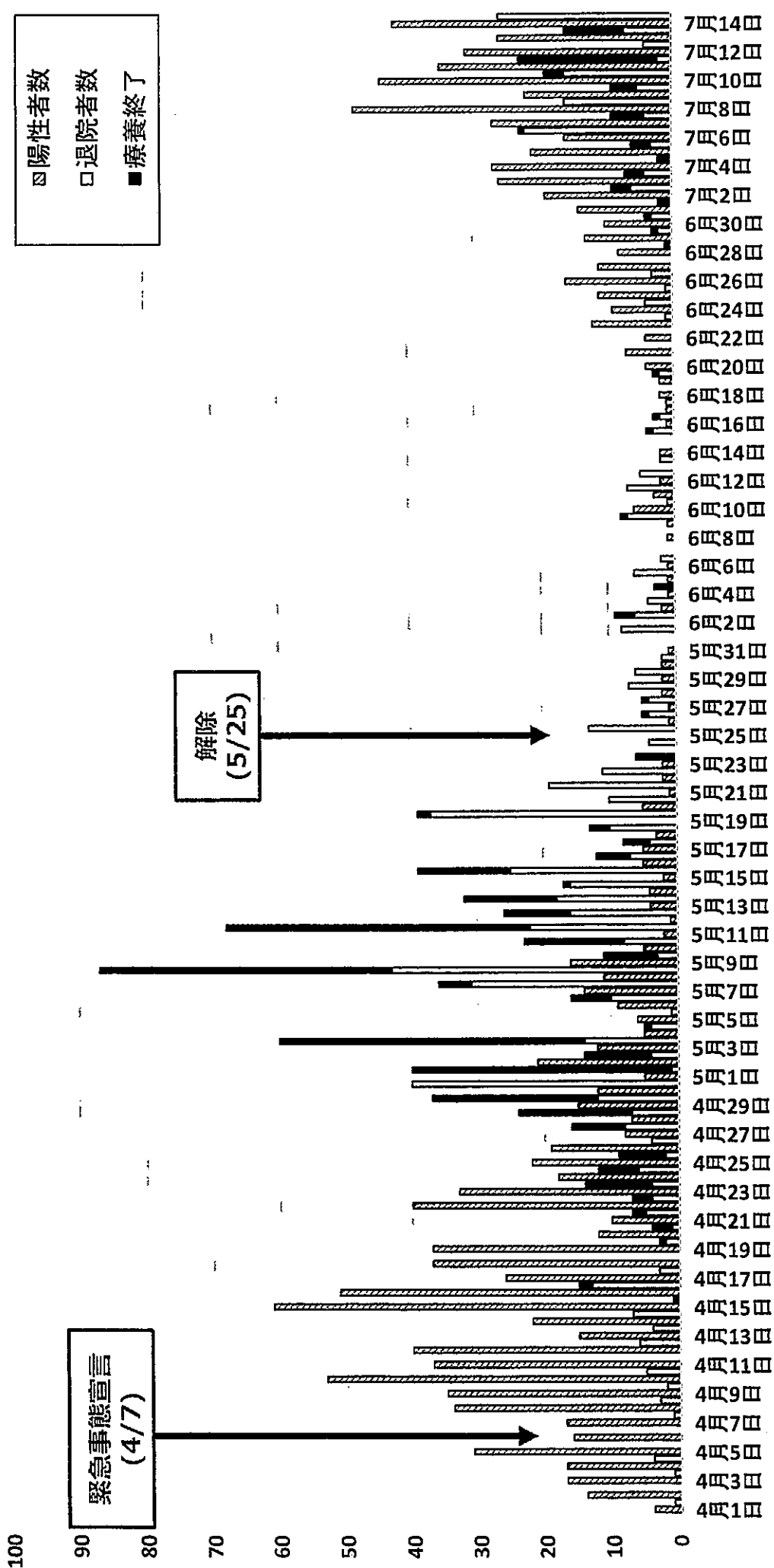
※陽性率は、民間検査の検査人数が報告されるまでのタイムラグなど日々の結果のばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、移動平均の値を使用。

「過去7日間に判明した陽性者数」を「過去7日間に判明した陽性者数と陰性者数の和」で除した値を、その日の「陽性率(移動平均)」としている。

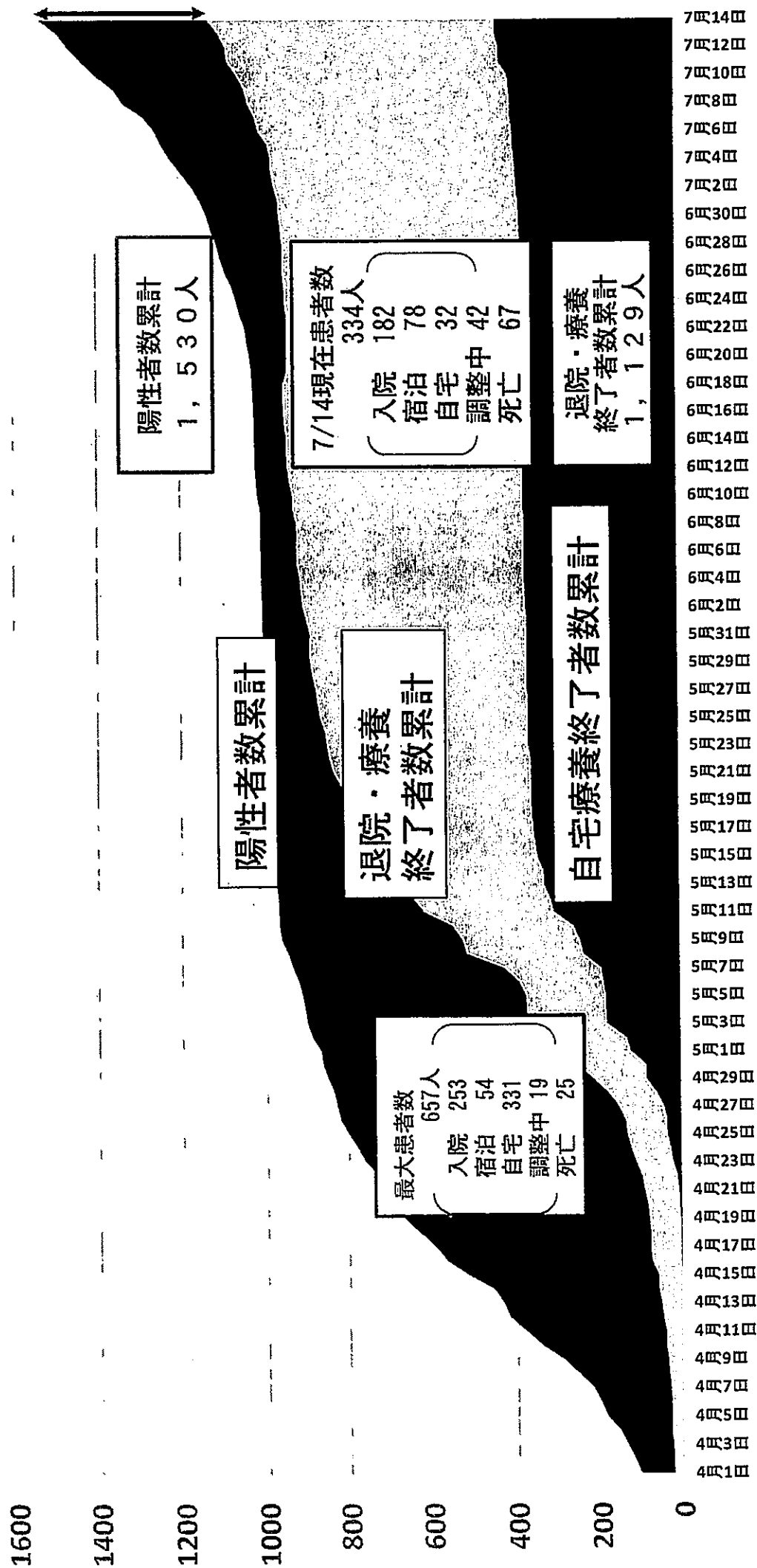
※民間検査分は速報値であるため、遡って数値を修正する場合がある。

※陰性確認のための検査は含まれていない。

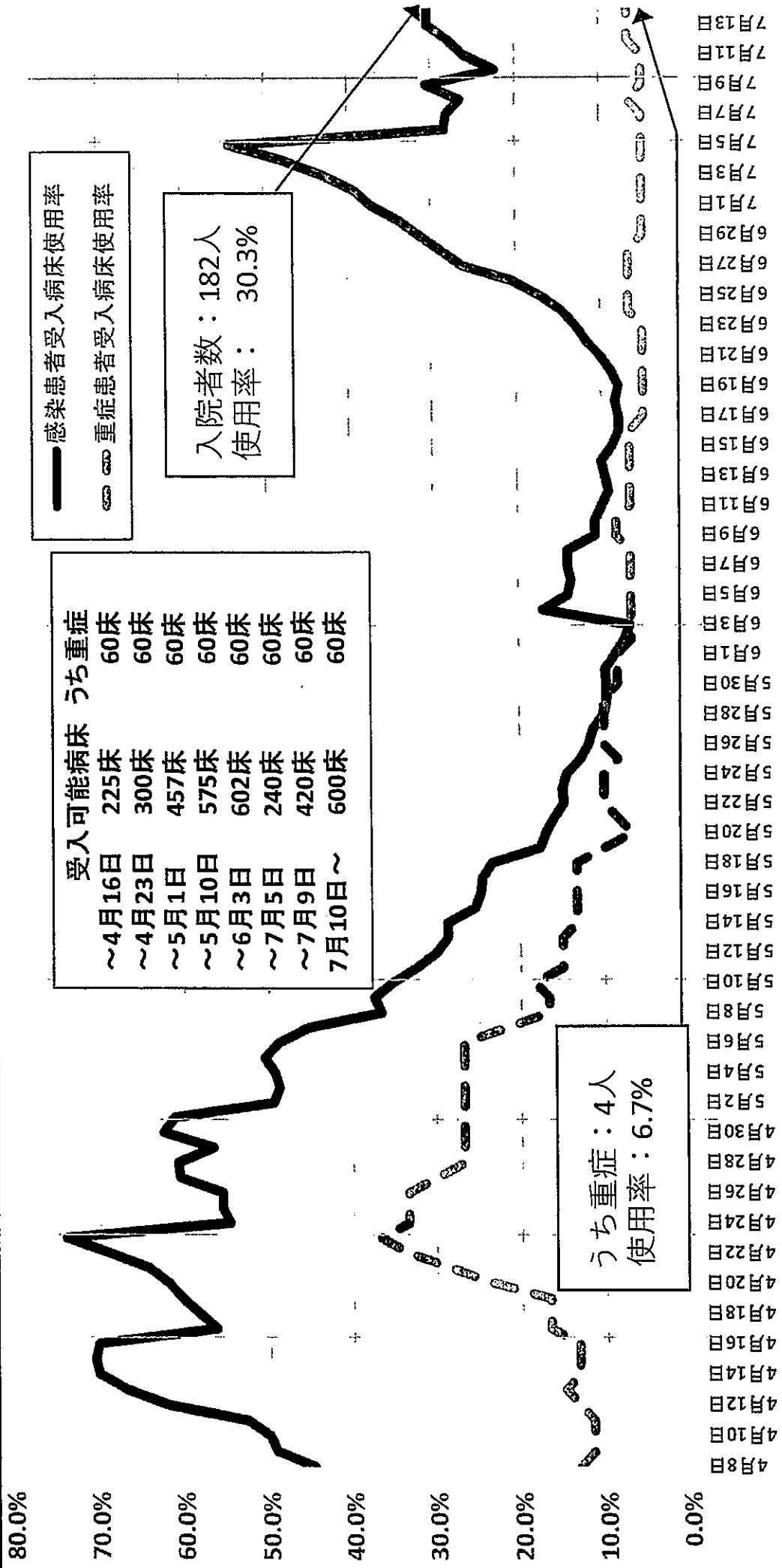
陽性者数と退院・療養終了者数の推移(日別)



陽性者数と退院・療養終了者数の推移(累計)

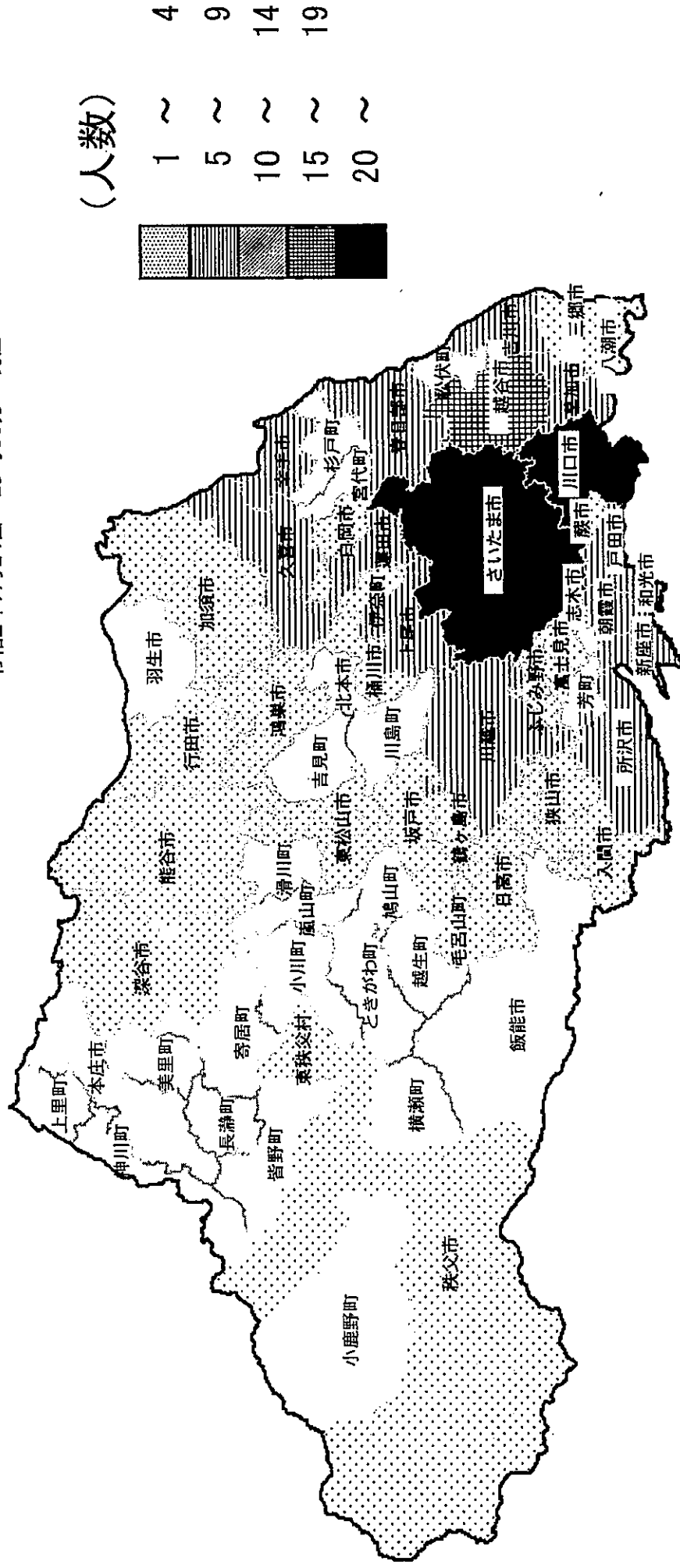


病床使用率の推移



陽性者県内市町村別分布(直近1週間)

令和2年7月14日 19時00分 現在

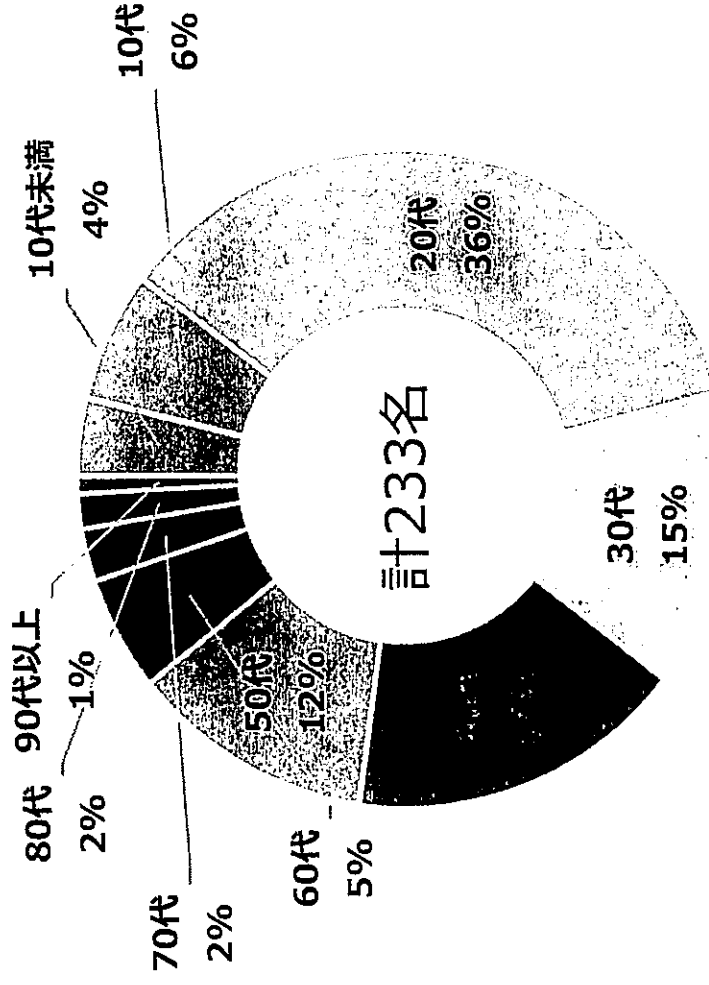


埼玉県内の直近1週間の陽性者の状況

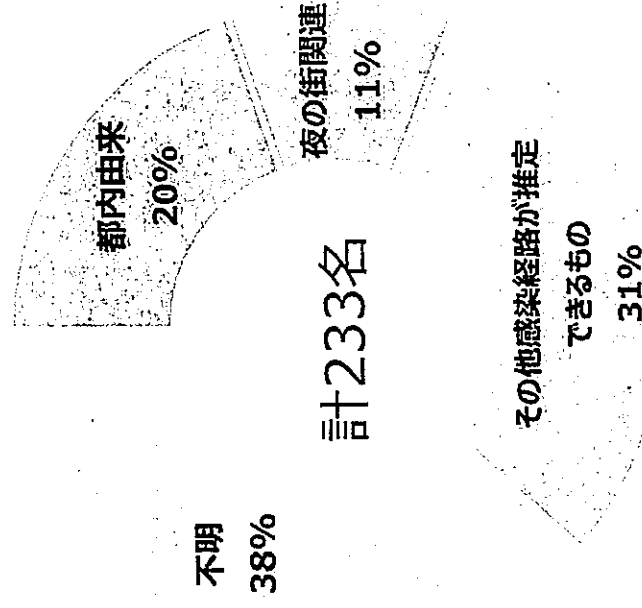
※数値は発表日ベース

7月7日～7月13日

年齢別区分



感染疑い経路区分



資料 2

新たな病床確保計画

○国の新たな患者推計に基づき、4つのフェーズごとに新型コロナウイルス感染者向けの病床数等を設定した。

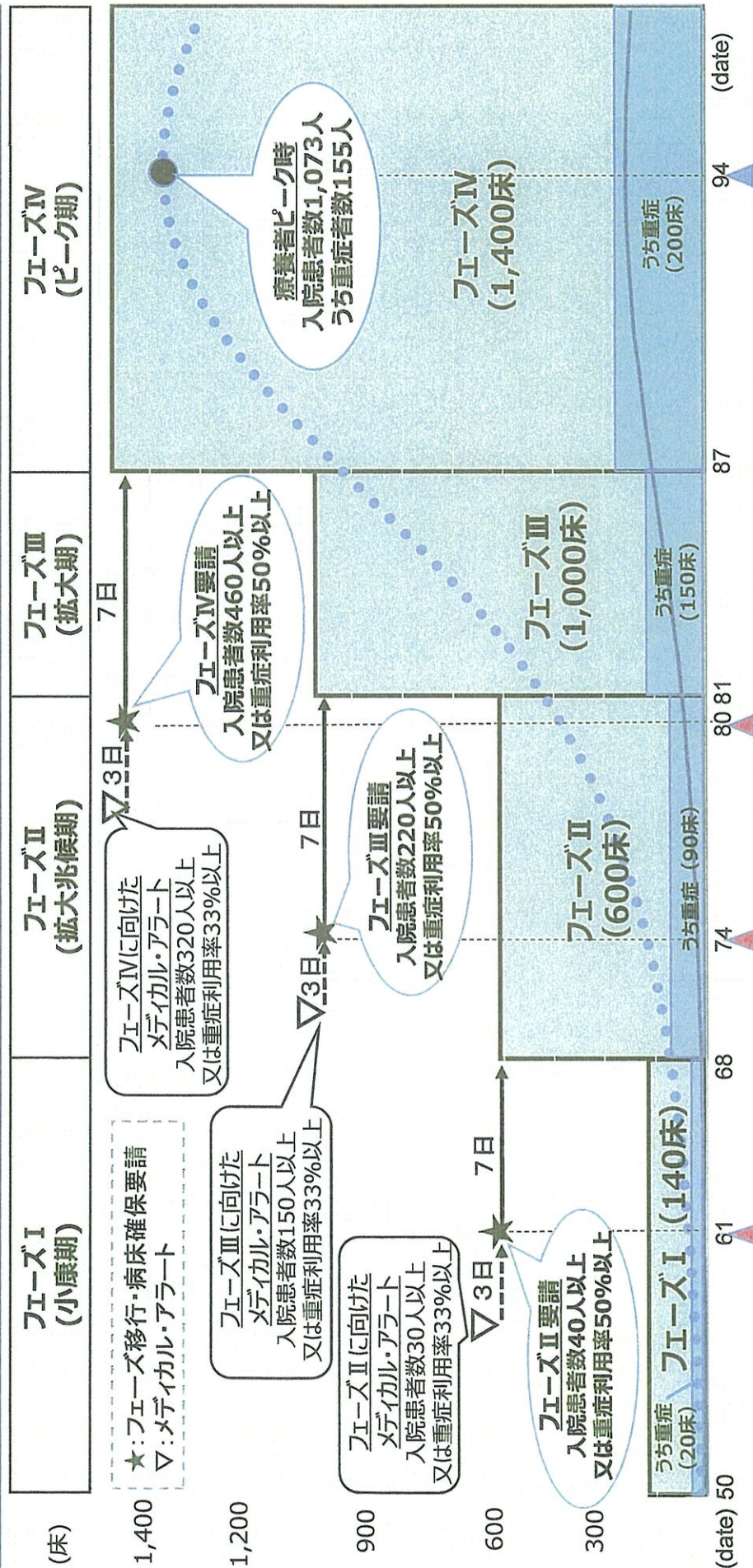
【ピーク時の陽性患者数 2, 215人】

【ピーク時の入院患者数 1, 073人 うち重症者数155人】

病床数	フェーズ	フェーズⅠ (小康期)	フェーズⅡ (拡大兆候期)	フェーズⅢ (拡大期)	フェーズⅣ (ピーク期)
	病床数 合計	140	600	1,000	1,400
内 訳	重症	20	90	150	200
	その他	120	510	850	1,200

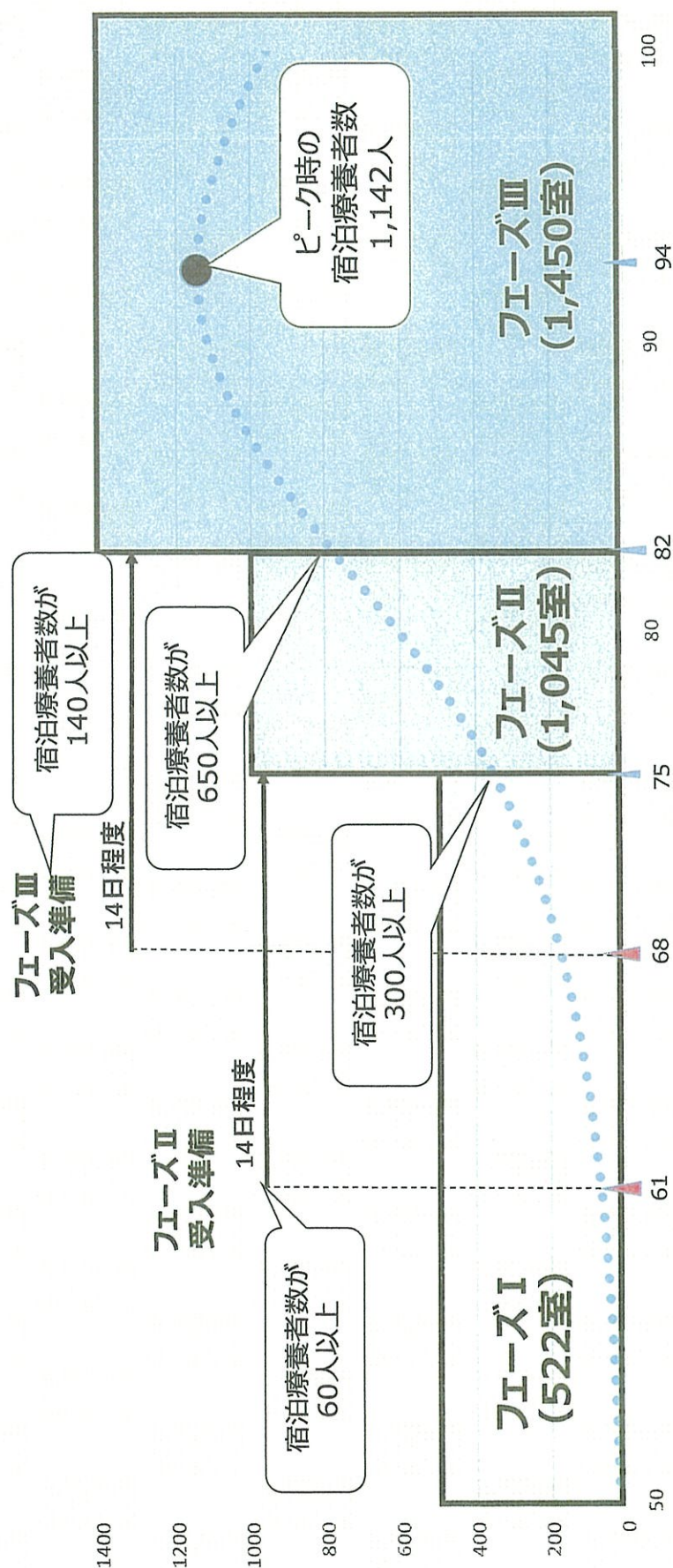
埼玉県知事記者会見

新たな病床確保計画



埼玉県知事記者会見

新たな宿泊療養施設の確保計画



※ 消毒・清掃を考慮し最大稼働率は80%と想定。

埼玉県知事記者会見

第2波に備えた検査体制の強化

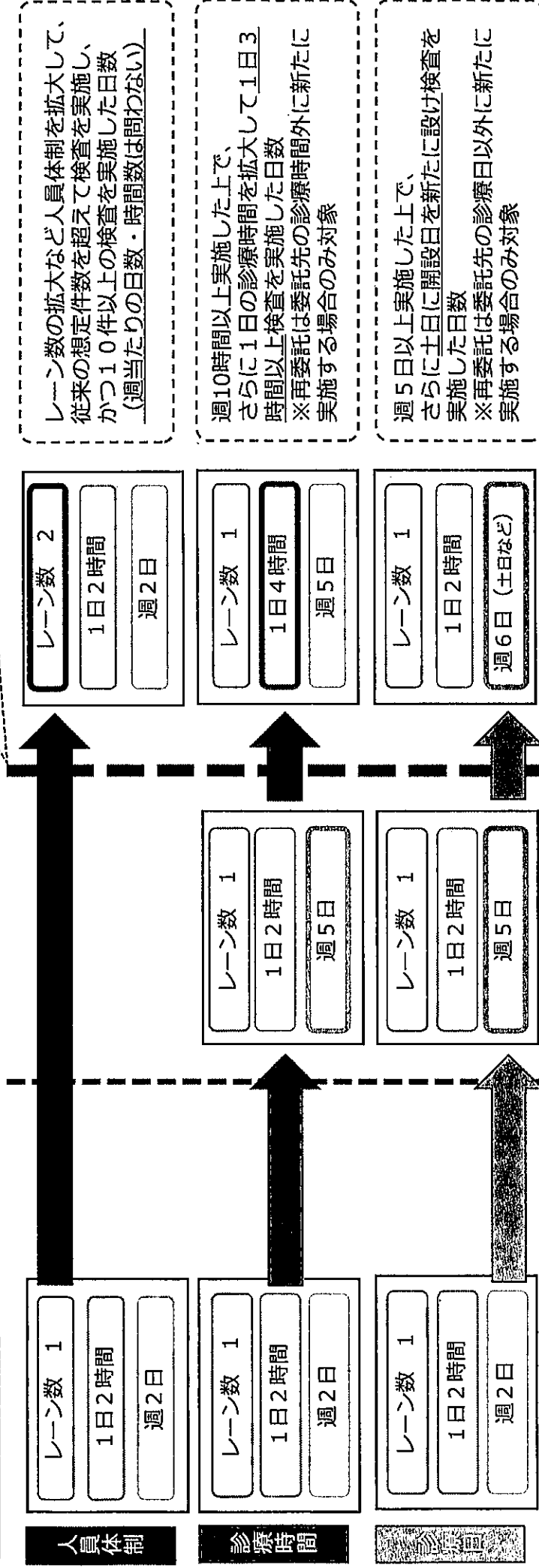
第2波に備えて、既存の発熱外来PCRセンターの検査体制の強化を図る医師会に対して、医師等の人件費を支援し、検査体制の強化を図る。

方法：業務委託契約（単価契約）
委託料：15万4,840円/日

資料 3

条件

検査体制の強化例



当初契約

週10時間未満で契約している医師会が、継続して週10時間を超えて実施した場合に、合わせて変更契約を行う

変更契約

単価契約で別途委託料を支払

※検査需要の増加に対応するため、従来の検査体制を上回り。上記のいずれかの方法で体制強化を図った場合が対象

各医師会で設置する発熱外来PCRセンターについて、11月以降も継続して実施する（令和2年11月～令和3年3月）。